

委員各位

一般社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 芹澤 久
JIW第3委員会
委員長 芹澤 久
(公印省略)

開催通知

第122回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、各位お繰合せの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。なお、ご出欠は回答欄にご記入の上、e-mail(s_kogure@tt.rim.or.jp)にて、事務局に平成30年9月3日(月)迄にお知らせ下さい。

記

1.日時

平成30年 9月 10日(月) 10:30～16:45

2.場所

大阪大学接合科学研究所 荒田記念館 (大阪)
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 11 番 1 号
(案内図をご参照下さい)

3.テーマ

接合プロセスの監視、制御、品質管理及び生産システムの最適化

4.幹事会のお知らせ

昼食休憩時に幹事会を開催いたしますので、役員および幹事(または代理)の方はご参集下さいますようお願い申し上げます。会場は当日ご案内いたします。

☆出席人数が一事業所2名を越えますときは、3人目から、資料費として1名につき2,000円を納入願います。なお、その場合は、あらかじめ返信メールにてお知らせ下さい。

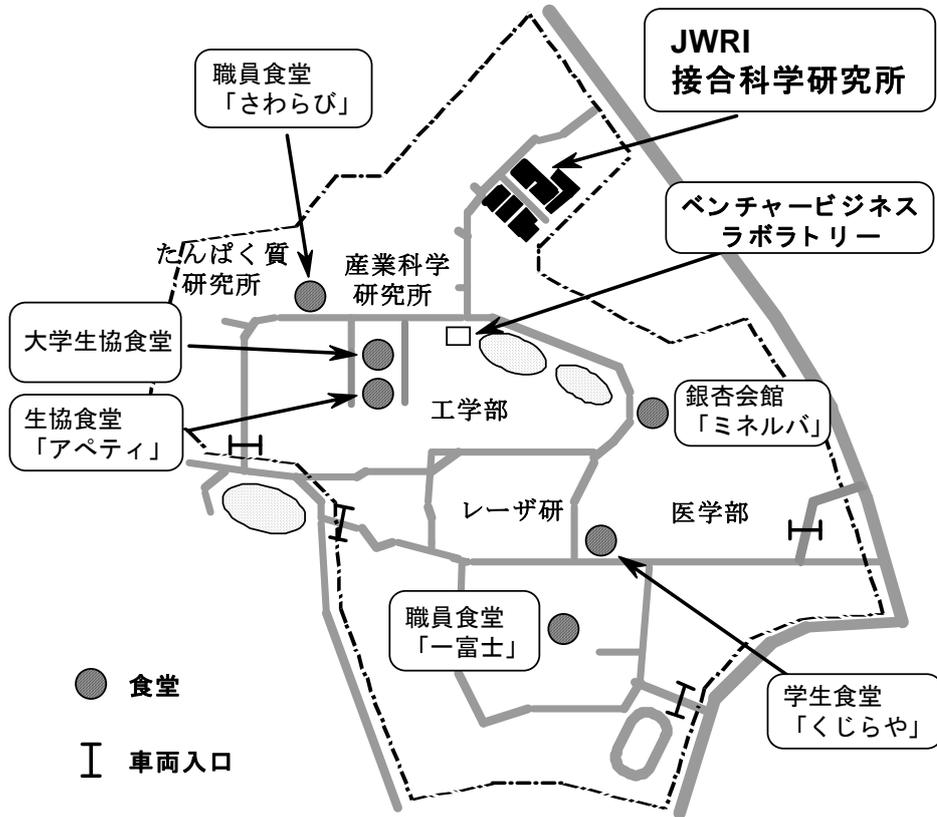
第 122 回 軽構造接合加工研究委員会プログラム
 — 接合プロセスの監視、制御、品質管理及び生産システムの最適化 —

1. 日時:平成30年9月10日(月)10:30~16:45
2. 場所:大阪大学 接合科学研究所 荒田記念館
3. プログラム (都合により若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます。)

時間	題 目	講 演 者
10:30 ~ 11:15	溶接の可視化と温度解析 (MP-652-2018)	有限会社ケンテック ○水島太樹
	溶接中には、さまざまな原因で不具合が発生します。紹介致します装置は、簡易的な設置で溶融プール・キーホール・スパッタ等を可視化し、より良い製品を作るための条件出しを行います。	
11:15 ~ 12:00	アルミニウム合金のスポット溶接に関する技術動向 (MP-653-2018)	大阪大学 接合科学研究所 ○松山 欽一
	車体の軽量化のために再度脚光を浴びているアルミニウム合金のスポット溶接に関する最近の技術動向を、我が国だけでなく海外の研究成果も含めてまとめたレビュー。	
12:00 ~ 13:00	昼食および休憩 (幹事会の開催)	
13:00 ~ 13:30	委員会 (軽構造接合加工研究委員会・JIW 委員会) 議事	
13:30 ~ 14:15	M2M を目指した溶接とシールドガス (MP-654-2018)	岩谷産業株式会社中央研究所 ○吉田佳史
	アルミニウムを溶接するにあたり、トーチ出口のシールドガスの純度の重要性が昨今認識されてきた。しかしながら、供給されるシールドガスの純度をモニターして溶接を行う製造工程はまだ数少ない。今回は露点センサーと溶接機とを組み合わせ、シールドガス純度に起因する欠陥の低減、制御を行った事例を用いて、溶接におけるシールドガスの M2M を目指すためのモデルを示す。	
14:15 ~ 15:00	The connected ARC (MP-655-2018)	Fronius Japan K.K (フロニウスジャパン株式会社) ○David Kreuzeder
	I plan to integrate all the information about the new TPSi platform and the benefits of the connected system, the fast communication to react on changes in the welding behavior, the connection to robot controllers with a higher level of integration (WeldCom Interface, FANUC I.0, ABB and KUKA Interfaces), some application samples (CMT, PMC, PMC Mix and LSC) and finally some information about WeldCube.	
15:00 ~ 15:15	休 憩	
15:15 ~ 16:00	最新 Plasma 溶接電源のご紹介 (MP-656-2018)	ビンツェルジャパン株式会社 ○木下 尚 SBI 社(Austria) ○Thomas Seidl
	①SBI 社製最新 Plasma 溶接電源のご紹介 ②他国での適応事例紹介及びご提案	
16:00 ~ 16:45	デジタル画像相関法の原理と 3D 動的変形分析への適用事例のご紹介 (MP-657-2018)	丸紅情報システムズ株式会社 ○宮下進太郎
	デジタル画像相関法(DIC: Digital Image Correlation)により、変位やひずみを非接触で動的に 3D 計測する原理やそれに 基づくドイツ GOM 社製 ARAMIS システムに関する適用事例を紹介する。	

※ ○: 講演者

大阪大学吹田キャンパス 食堂案内



大阪大学接合科学研究所

〒567-0047

大阪府茨木市美穂ヶ丘11番1号

電話 06(6879)8678